

亀岩の洞窟・亀岩の滝・・・神聖なる洞窟

—まぼろしの滝が「^{あい}幸福と絆の滝」に大ブレイク—

伊原 弘 晃

- 子供のころみんなで魚を採ったり、泳いだりして遊んだ淵や滝・・・今は「清水溪流広場」
- カータトンネル（洞窟・滝）・・・川廻しによって掘られた人口の洞窟と滝
- セイナザ（沢）の滝・・・大雨の時だけ沢の水があふれてでできるまぼろしの滝
- ノウミゾの滝と淵・・・水車小屋の水車を回す水路（農溝？）の脇の大きな滝



左 カータトンネル（洞窟・滝）
中 セイナザ（沢）の滝
右 ノウミゾの滝・淵

- 片倉ダム（笹川湖）の建設（平成13年完成）、その後整備された「清水溪流広場」がオープンし、大きな期待が広がる。

遊歩道、四阿（あずまや）、木道、駐車場が整備され、自然を生かした優れた環境の実現。変化ある溪流と三つのまぼろしの滝があり、小魚泳ぎ、夏にはホタルも飛び交う幽玄の景色。

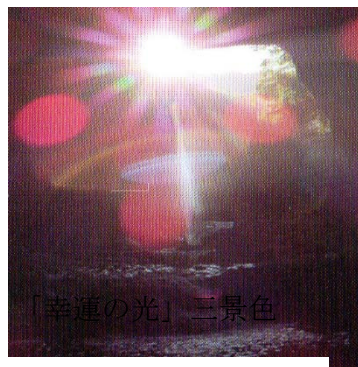
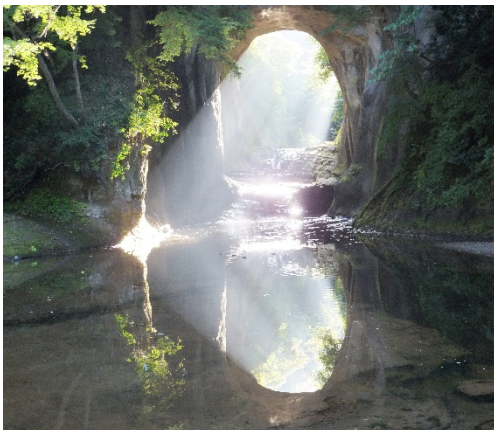
君津市の委託を受けて地元団体による施設の保守管理活動が始まる。

- この景観を自分たちが楽しむだけでなく、都会の人にも親しんでもらえたら

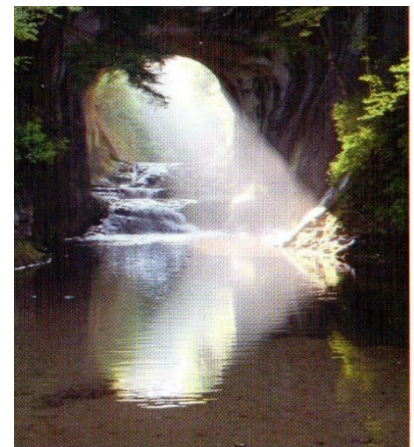
そこで始まった「素敵な景色とポイント探し」・・・朝から晩まで、一年中、カメラ片手に平成14年3月 春分の日前後の早朝に洞窟にさす陽光が見事なハート形を造ることを確認。

その時の感動は今も忘れない。

- 9月 秋分の日前後にも同様に陽光がハート形を確認、さっそく写真で宣伝
- 平成17年 洞窟の中に亀に似た岩があることを確認。しかも、水は亀の形の岩を超えて滝のように下の淵に落ち込む。そして、波紋が広がり幽玄の世界が出現する。
- 水の少ないときは、淵は静かに、周りの岸壁、木々や陽光が水面に映り、静



「幸運の光」三景色



寂な時が流れる。そこに鳥の飛翔が映り込むさまは、えも言われぬ。

平成 18 年頃 駐車場のトイレの外側壁に拡大写真を張り、訪問者に紹介と説明を始める。訪れた観光客が「こんなところにこんな素敵どころが」「洞窟の眺めは驚き、向こうに何か不思議な世界があるかも」「ハートの写真を見たけど、その時ここに来るときっと幸せになれるね」などの声が聞こえるようになる。

平成 23 年 11 月 『幸運の鐘』が建立される。吊り鐘は商工会議所会頭秋元秀夫様寄贈、命名は君津市長鈴木洋邦様。このころから徐々に訪問者が増加する。誰が始めたか「遊歩道の手すりに祈りの小絵馬やおみくじ」などが結ばれるようになる。

平成 27 年 10 月 洞窟の全景、亀岩の写真、ハード型が形成された春秋の写真などが SNS に投稿される。愛のパワースポットとして反響が広がる。

平成 27 年秋 亀山の紅葉、クルージングなども加えて SNS で大ブレイク。駐車場はシーズン中、いつも満杯。地元亀の子せんべい爆売れ。交通問題浮上

平成 28 年春 個人客ばかりでなく、各種大手観光会社のツアーが組まれるようになる。7 月 地主のご協力で臨時駐車場を開設。市役所の支援で「バスによる観光客のピストン輸送、臨時トイレの設置」などの応急対策が始まる。

平成 28 年 8 月 大東めぐみさんが訪れ、感動して、ここは「親愛の滝」「愛が溢れる滝」などの愛称を提案いただく。

現 在 連日、通常駐車場はいつも満杯。ツアー客の増加、引き続き人気沸騰



人溢れる洞窟への階段



『幸運の鐘』平成23年11月建立(命名:君津市長)



ハート型を造る姉妹

○これから

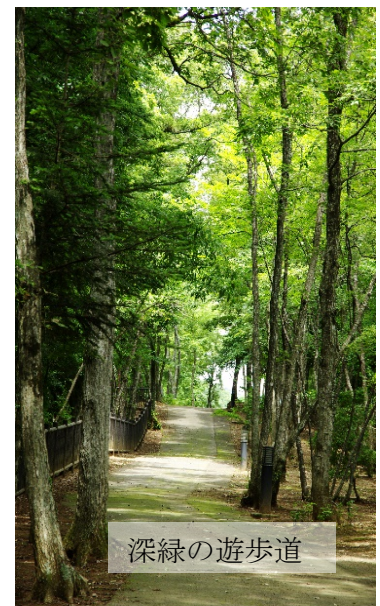
- ・ 当面する観光客への対応
- ・ 継続した観光客確保のための対応
- ・ 行政の支援。商工会議所、観光協会の支援
- ・ 地域の受け入れ態勢の強化と持続的活動



5~7月 ホタル乱舞する木道



モミジ映える木道



深緑の遊歩道